

キャリアアッププログラム2017（3学期）講座シラバス

【エントリー科目】

科目名	日常生活を考える経済学入門	
副題	経済学の思考法を学んでみたいあなたのために	
受講対象者	経済学を学んだことがない方、あるいは自分には程遠いものと感じている方	
講座概要	経済学は、限りある資源を使い豊かな暮らしを実現させることを目指す学問です。その考え方あるいは思考法は、現実の経済の動き（日常生活）をみる上で有効なものであります。同時にそこには限界もあります。この授業においては、さまざまな事例からそれらについて学び、経済学が現実の中でどのように生かされているかを考えます。	
到達目標	経済学の思考法を垣間見る	
授業計画 および開講日	第1回 1/16(火)	日常生活は経済学だらけ！ —選択—
	第2回 1/30(火)	世の中ただのものはない！ —機会費用—
	第3回 2/6(火)	価格の役割を考えてみよう！ —市場の働き—
	第4回 2/13(火)	安心を買うということは？ —リスク—
	第5回 2/20(火)	利己的に生きればが・・・ —戦略的状況—
	第6回 2/27(火)	人にはそれぞれ役割がある！ —比較優位—
授業の形式	座学	
授業の進め方	経済学でよく用語や概念を解説します。そしてこれらを使い日常生活における経済問題を考えていくことをします。ほとんど頭の柔軟体操をしながらも授業となります。	
教材などの追加負担	教材費の負担はありません。	
受講者へのメッセージ	経済学は、景気やインフレ・デフレあるいは円高ドル安などの為替の動きを解明するものというのが、大方の経済学への理解だと思います。もちろんそれらのことは現実の日本経済の現状を踏まえたとき、最重要な経済問題であります。しかしながら、経済学は日々の何気ない暮らしの中に深く入り込んでいます。フランス料理店で食事をするか中華料理店で食事をするかを選択することも経済学の対象とする問題です。授業ではこのような日々の暮らしに落ちている問題に焦点を当てます。	
講師紹介	<p>新垣 繁秀（あらかき しげひで） 経済学部 経済学科 教授</p> <p>沖縄県生まれ 広島大学社会科学部経済学専攻 専門分野公共経済学 とくに社会全体において共通に必要なとされえものやサービスの提供の方法について研究しています。大学では学生にミクロ経済学基礎、マクロ経済学基礎などの科目を教えています。</p>	